

男鹿みなと市民病院倫理委員会議事録

1. 委員長あいさつ

2. 出席者 委員長 松本敏江（診療部長）
副委員長 古仲真（副薬局長）
委員 小坂さおり（副看護部長）
委員 杉山武（事務局長）
委員 太田穰（経営企画室長補佐）
提案者 大場富美子（副看護師長）

3. 審議案件

「寝たきり患者の排便に対する食物繊維量、経管栄養水分量、腹部深部温の関連を明らかにする」

4. 審議内容

寝たきりで、経腸栄養の患者では、排便の調節が難しい傾向にあり、便秘の時は下剤を使っているが、できるだけ下剤に頼らず排便の調節ができれば、QOLの点からその方が望ましい。

これまでは、食事（流動食）量、水分の追加、マッサージなどで腸蠕動改善の工夫をし、さらに薬の使用で対応してきたが、本研究では①規定の流動食に食物繊維を追加することで、排便の調節が可能になるかどうか②接種水分量と排便の関係性③また腸の代謝状態を目安として腹部深部体温を測定し排便との関連を調べたいとの主旨であった。これにつき種々の質疑応答があった。

5. 審議経過

委員からは、対象観察期間は一週間でよいのか、8日目からの対応はどうするのかなどの質問があった。排便が4日みられなければ、下剤ないし浣腸をこれまで通り行いながら、観察を続けるとの回答があった。さらに、研究に協力していただく患者家族へ説明書には、患者が本研究により蒙る可能性のある苦痛について具体的に書き加えるよう指摘した上で承認することとなった。

6. 審議結果

条件付承認